# 2025年　プログラム近況報告
# コンゴ民主共和国　ルアラバ地域開発プログラム

温かいご支援をありがとうございます



ルアラバ地域の子どもたちへのご支援をありがとうございます。皆さまのご支援によって、子どもたちを取り巻く地域の環境が改善されています。彼らはみな、自分が大切な存在であることを実感しています。

フローレンス・ンゴイ・マテテ
ルアラバ
地域開発プログラムマネージャー

## ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

**673**

小学校の生徒673人が、樹木の大切さについて学びました。学校施設を守り、暑い日には日陰で休めるようにするため、校内に50本の木を植えました。

**736**

736の家族が子どもの保護と権利について学び、子どもへの虐待が起きた場合に、どのように通報すればよいかを知ることができました。

コンゴ民主共和国　：　日本　出典：国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（ユニセフ）、世界銀行　2022年 世界保健機関（WHO）　2024年

| 5歳未満児の死亡数（出生1,000人あたり） | 深刻な栄養不良の5歳未満児の割合 | 1日2.15米ドル未満で暮らす人の割合 |
|---|---|---|
| 79 | 40.3% | 69.9% |
| 2.3 | 5% | 0.7% |

チャイルド・スポンサーシップは、途上国の子どもの健やかな成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行います。地域の状況に応じて水衛生、保健、栄養、教育、生計の改善に取り組んでいます。



「以前、私は子どもの権利のことをよく知りませんでした。でも地域で子どもの権利の記念イベントが開かれて、そこで学ぶことができました。今では、自分の持つ権利をちゃんと理解しています」
グレイシーちゃん、11歳（中央）

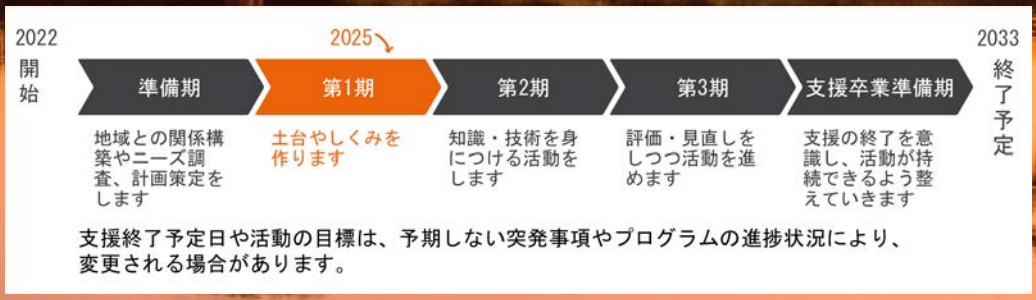
## 大きな変化がもたらされています

### 24

地域をより良くするため、24人の住民が基本的なサービスを受ける権利について学ぶ研修に参加しました。その結果、小学校に新しい教室の建設が決定されるなど、子どもたちの学習環境の改善につながっています。

### 27

27の教会や信仰を基盤とするグループが、ワールド・ビジョンと協働しています。すでに培った地域との信頼関係を生かして、子どもたちの生活を改善するために地域住民に働きかけています。



# 「ごはんを食べて学校にも通えています」



「お母さんは一生懸命働いていたけれど、ぼくたち家族はとても貧しい生活をしていました」と話すのは、10歳のジョナサンくん（左）です。「いつもお腹を空かせていたし、学校のお金も払えませんでした」

そんな生活に転機が訪れたのは、母親がワールド・ビジョンの実施する、収入向上のための研修に参加したことがきっかけでした。研修を通してさまざまな知識や技術を学び、さらに養豚を始めるための支援も受けることができたのです。

収入が増えたおかげで、ジョナサンくんの母親は食費や学費、そして日常生活に必要なものを購入できるようになりました。「お母さんは、市場で食料品を売る新しい仕事も始めました」と、うれしそうに話すジョナサンくん。「今はちゃんとごはんを食べられるし、健康にもなったし、学校にも通えています」




チャイルドの最新情報や写真・動画を見られる
「マイ チャイルド」および
登録情報の変更など、各種お手続きができる
「マイ ワールド・ビジョン」はこちらから

World Vision

# ご支援により、子どもたちを取り巻く環境が改善されています

## コンゴ民主共和国　ルアラバ地域開発プログラム（ZAR-221034）

2024年度（2023年10月1日～2024年9月30日）

### 会計報告

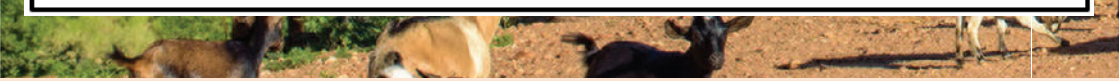
| プログラム支援額 | （単位：円） |
|---|---|
| チャイルド・スポンサーシップ当期支援額 | 33,555,768 |
| 前期からの繰越額 | 659,599 |
| プログラム支援額合計 | 34,215,367 |

| プログラム支出額 | |
|---|---|
| スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト | 31,688,455 |
| プログラム支出額合計 | 31,688,455 |
| 次期繰越額 | 2,526,912 |

### 活動内容

**スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト**

- 手紙や成長報告を通したチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- 宗教リーダーと協働したチャイルド・スポンサーシップの活動に関する研修
- ジェンダー平等と社会包摂に関する地域住民を対象とした研修
- 地域住民によるアドボカシー活動に関する研修（特に子どもに関する課題について、現状を把握し、行政などに改善を訴える手法について学ぶ研修）



お問い合わせ
特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL：03-5334-5351
Eメール：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp